



おおもとくにみつ
大本邦光 議員

熱中症対策の推進について問う

議員 高齢者の熱中症に対する意識を醸成するための取組について尋ねる。

健康福祉部長 本市では、高齢者夫婦世帯や高齢者単身世帯が増えているため、地域の方々の協力が不可欠である。今までも、民生委員や愛育委員といった地域の方々の支援による高齢者の見守り活動の中で、熱中症予防のための情報啓発活動に取り組んでいる。また、大手製薬会社との地域包括連携協定の中で、官民一体となって予防啓発に取り組む、熱中症搬送ゼロを目指している。さらに、いきいき百歳体操や、サロンの運営に携わっている関係団体とも連携しながら、地域の高齢者が集う場面を活用して、情報啓発活動に取り組んでいる。



議員 特別警戒情報の発表時に施設を開放する、クーリングシエルトアの準備計画について尋ねる。

生活市民部長 まだ法改正されたばかりで詳細な情報等が出ていない。今後、しっかりと情報収集を行い、関係する部署や機関、施設と協議を行い、適切な対応を取っていきたい。

発達性読み書き障害（ディスレクシア）の対策について問う

議員 保護者等を対象にした、発達性ディスレクシアへの理解を促す取組について尋ねる。

教育長 夏までに、学校や教育委員会のホームページに、お困りの方にすぐに情報が入るようなシステムを作ることができたらと思う。



くわだまさあき
桑田昌哲 議員

保育所などの広域入所を緩和して

議員 本市は保育所等の広域入所を緩和したが、保育短時間が64時間以上である経緯を尋ねる。

こども部長 長時間保育を必要とするフルタイム勤務の方のために基準を設定した。

議員 就労時間の下限条件が広域化した市町で違い、本市は保育所に入りづらい状況である。条件緩和と統一性を持たせるよう対策を講ずるべきではないか。

こども部長 子育て環境の充実に向けて、本市の基準も48時間へ見直しを行っていく。

議員 一つ対応が可能になるのか。
こども部長 実施時期は確定して



いない。今年度後半に向けて進めていく。

議員 子供が減少している中、再編整備計画のスケジュールは今のままで実施していくのか。

こども部長 全体的な園児の減少もあるが、新たな試みや制度変更による需要の拡大も踏まえつつ、計画に沿って再編していく。

議員 6月の広報かさおかに、施設の改修とあるが、大規模なリフォームを行うのか。

こども部長 4園の改修のことで、具体的には予定をしていない。

議員 文面の記載には気を付けてもらいたい。



やまもと さとし
山本 聡 議員

さらなるDX推進に向けた取組について問う

議員 デジタル推進課の増員やHPの刷新、VR等DXに向けた取組について尋ねる。

政策部長 デジタル化が進むことで世の中がシステマティックになり、オンライン化により仕事、消費、教育、医療など多くの課題が解決されていくことが期待されている。本市もDX推進計画のもと、若手職員で構成するワーキンググループや対象となる業務を所管する関係部課と複合的に連携して全庁的に進めていく計画である。

議員 メタバースなどを活用した仮想市役所の取組は可能か。

市長 市民のニーズや庁内業務の効率化などの課題解決に有効だ。引き続き研究していく。



関係人口の創出への取組について問う

議員 木山捷平文学選奨の短歌部門の応募要件を全国区に。笠岡を知ってもらおうチャンスである。

市長 小説部門は全国に募集をかけている。短歌部門等は市民向けに実施し、文学振興を図ることが目的だ。地域への愛着や誇りを抱くきっかけともなっており、今後市民向けの賞として扱いたい。

議員 干拓内の事業所の取組や島しょ部のインフラ整備について尋ねる。

政策部長 干拓内は制約がある中、工夫を凝らし事業を実施している。海底光ケーブルを活用して全島に大容量の高速通信が整備できないか協議中。国交省へは市長から支援を依頼している。



さいとうかずのぶ
齋藤一信 議員

がん患者へ医療用ウィッグ等購入費用の一部補助を目指して！

議員 がん患者の皆様の社会活動を応援し、療養生活の質がよりよいものになるように、アピアランスサポート事業としてウィッグ購入費用の一部の助成を本市でも早急に実施をすべきと考えるが、市の考えを尋ねる。

健康福祉部長 現在、サポート策は実施していないが、罹患された市民の方が、治療により外見の変化にケアが必要な場合においても安心して社会生活を送ることができるとなるよう、具体的なサポート策の実施に向けて準備を進めていく。

議員 ウィッグの助成事業は、がんと闘う方々に対するエールである。早期実現に向けてお願いをします。



ふるさと納税の使い道。市民や団体が使える予算配分を求めます！

議員 地域の行事はどんどんコロナも影響して減っているし、市からの予算も減らされているため、地域活動は窮屈になってきている現状である。自分たちのアイデアや発想、発信力さえ優れていれば、直接全国から寄附が募れるような制度の枠を設けてもいいと思う。

総務部長 意欲ある団体、個人でもいいと思うが、寄附によって活動が継続されるとか、新たに創設されるとか、そうしたことについては今、具体的にこうするというのは申し上げられないが、そうした方向についてはいい考えかと思う。

議員 予算の枠を市民に与えていただきたい。前向きに研究してほしい。